

## NPO 21 世紀水倶楽部設立 10 周年記念シンポジウム

### 地球環境時代の下水道を考える

【開催趣旨】地球規模で行われている物質循環の中で、世界都市人口の約半分の汚水を集約している下水道の役割はますます大きくなっています。世界の人口・食糧・都市問題を緩和解決する糸口は下水道にあると言っても過言ではありません。21 世紀水倶楽部ではこれまでにこうした課題も含めて、下水道に関する問題の提起とその解決方法を議論する研究集会などの活動を行ってきました。本年度は、当 NPO が設立されて 10 周年に当たりますが、この 10 周年を記念し、地球生態学の分野で数々の栄誉（2008 年日本学士院エジンバラ公賞等）に輝く、和田英太郎京都大学名誉教授・総合地球環境学研究所名誉教授をゲストに迎え記念講演をいただくとともに、花木啓祐東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授を講師としてお招きして、これからの地球環境問題や下水道が果たすべき役割などについて議論をすすめたいと思います。是非 10 周年記念シンポジウムにご参加ください

【主催】NPO 21 世紀水倶楽部

【後援】国土交通省（予定）、（公社）日本下水道協会、  
（一社）全国上下水道コンサルタント協会、  
（一社）日本下水道施設業協会

【協賛】日本水道新聞社、水道産業新聞社、公共投資ジャーナル社、環境新聞社

【開催日時】2014 年 1 月 14 日（火）13：30～17：00

【会場】日本水道会館 7 階会議室（東京都千代田区九段南 4－8－9）  
最寄駅：JR「市ヶ谷」、東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線「市ヶ谷」

【プログラム】■開会挨拶「21 世紀水倶楽部設立 10 周年を迎えて」 [13：30～13：45]  
NPO 21 世紀水倶楽部 理事長 亀田 泰武

#### <第一部>

■記念講演「地球温暖化と生態系変動」 [13：45～14：45]

京都大学 名誉教授・総合地球環境学研究所 名誉教授 和田 英太郎 氏  
地球環境問題の現状について、これまでの研究活動を通して紹介していただいたうえで（ローマクラブ成長の限界 40 年後、生態系の変動など気になること）、地球生態学、特に温室効果ガスから見た物質循環や地球温暖化と汚濁小河川・下水道の関わりなどについて論じていただき、さらに懸念されるここ 100 年のホモサピエンスとしての対応を論じていただきます。ホモサピエンス（知恵のある人）として、下水道で何ができるかについても言及してい

たきます。

①地球環境問題 ②安定同位体 ③陸域生態系における温暖化と温室効果ガス ④琵琶湖淀川水系流域評価 N<sub>2</sub>O と CH<sub>4</sub> 食物連鎖

## <第二部>

■特別講演「新下水道ビジョンの議論と課題」 [14:55~15:25]

東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻教授 花木 啓祐 氏

地球環境問題はかつてないほど私たちの生活に大きな影響を及ぼしつつあります。そうした中であって、下水道がこの問題に貢献できる役割は年々増えています。国土交通省は下水道政策研究委員会を設置して平成17年に「下水道ビジョン2100」を策定して下水道の方向性を示しましたが、その後の社会の変化に合わせて改訂する作業が進められています。検討の経過とともに、地球環境問題で下水道が貢献できる可能性や課題などについてご紹介いただきます。

■講演「下水処理の今日的課題と展望」 [15:25~15:55]

NPO 21世紀水倶楽部 理事 佐藤 和明

下水道には多量の有機物（C）と栄養塩（N、P）が集約されてきます。これをメタン、亜酸化窒素を含めた温室効果ガスの発生をできるだけ低くして処理、あるいはリサイクルしていくかが今日の大きな課題となっています。これまで21世紀水倶楽部の研究集会で議論してきたことのエッセンスを紹介するとともに、今後の展望について言及します。

■総合討論「地球環境時代の下水道が目指すもの」 [16:05~17:00]

司会 NPO 21世紀水倶楽部 理事 阿部 恭二

【参加人数】100名（申込み先着順、定員になり次第締切らせていただきます）

【参加費用】無料

【申込方法】NPO 21世紀水倶楽部ホームページ：<http://www.21water.jp/>  
参加登録フォームから

【問合わせ】E-mail：[sympo-info@21water.jp](mailto:sympo-info@21water.jp)、Tel：03-3980-4567

【懇談会】シンポジウム終了後、懇談会（約1時間、参加費1,000円）を予定していますので、参加を希望される方はシンポジウム申込時に「懇談会参加希望」とお書きください。